

平成 2 1 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 再就職準備講座
-------------------	----------------------

区分	番号	名 称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	4	雇用と就業環境づくりの推進
小分類	1	生涯を通して働ける環境づくり
主要な施策	2	女性の就業支援
事務事業番号	001	事務事業コード 31412001 事業開始年度 平成 1 8 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	婦人センター管理運営経費(婦人センター講座)
------	------	------------	------------------------

部 名	観光経済部	グループ名	商工労政 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 出産や育児、介護等により退職した就労意欲のある女性
手 段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 就職に備えた心構えや必要な基礎知識を身につけさせるための講座を開催する。  *平成 2 1 年度...看護職就職促進セミナー開催 育児等で看護現場から離れていた看護師資格をもった 3 名参加者に、講義や実習を交えたセミナーを 3 日間開催
目 指 す 姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 講座を受講し再就職に備えることで、女性の社会進出を図るとともに、男女共同参画社会の実現に向けての環境をつくる。
根 拠 法 令 等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	開催日数	日	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	3				
	参加者数	人	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	3				

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	50	70	60	60	60	180
合 計				50	70	60	60	60	180
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	106	111			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		106	111			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後もしもが事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？
本事業は、再就職に備える講座を開催し、女性の社会進出を図るとともに、男女共同参画社会の実現に向けての環境をつくるため、行政も関わりながら進める必要がある。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？
看護師資格を所持する者を対象に実施したことにより、参加者は少ないものの、昨今の看護師不足を反映し、3人中2人が就職に結びついた。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？向上させることができない理由は何ですか？
就職支援をするためには、受講者のニーズを把握し、雇い入れる側の条件等を知ることが必要と思われるので、参加者にアンケート調査を行い、社会情勢に即した講座内容とする。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？削減できない理由は何ですか？
登別市婦人センター運営委員会において検討した結果、実施する講座の内容により異なるが、講座に係る講師謝礼等に係る経費であるため、コストを削減することは難しい。			

担当グループによる評価

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	男女共同参画社会の情勢の変化に伴い、その意識改革を助長することを推進するための講座を開き、更には、男女が仕事と家庭を両立できる環境をつくるが必要と考えられるため、今後も事業を維持する。
-----------	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>維持</b>	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）